

# 発想支援型インターフェイス PBD Brainstorming が文章産出に対して与える効果

加納 寛子\*

## The Effect of “PBD Brainstorming” as an Idea Creation Support System Gives to Text Production

Hiroko KANOH\*

PBD SPACE was developed as an interface for education using the Internet. This is equipped with some functions for supporting study and evaluation. This paper focused on PBD Brainstorming which is one idea-processing type interface of the function of PBD SPACE which is an interface for education using the Internet, and analysis of the effect was conducted. As a result, two knowledge was acquired. The 1st, it was effective in orienting the abstract contents of a proposal with the concrete contents of a proposal. The 2nd, as the feature of the produced report, it turned out that the report which suited meaning of a title has the concrete contents of a proposal, and that the number of characters also increases. The thing of two points was suggested from the above-mentioned thing. With a proposed type report subject, PBD Brainstorming can support a student's text production. It is important to press a student to write “more mostly” “more concretely” in order to raise the goodness of fit to the meaning of a title of a report.

キーワード：教育用インターフェイス，発想支援型インターフェイス，ブレインストーミング，PBD Brainstorming，等質性分析

### 1. はじめに

#### 1.1 研究の背景・先行研究の状況

(1) 本研究と関連する教育方法に関する先行研究

インターネットを利用した教育用インターフェイスは様々なものが開発されつつあるが、特定の機能と課題との関連で検証が行われている論文は少ない。そこで、本稿では、特定の機能と課題との関連で検証に焦点を当てる。

一般的に、学習活動支援を目的とした教育用インターフェイスには、いくつかの機能が置かれている。異なる機能をいくつか備えたインターフェイス同士の比較からは、組み合わせの違いなのか、インターフェイスの特定の機能による効果なのか、判断を見分けることが困難である。以前に開発をした PBD SPACE<sup>(10)</sup> には、インターネット上で動作する機能が 9 種類備

えてある。いずれも学習を支援するための機能である。9 種類の機能の中の、携帯電話関連機能に関しては、新しい提案をする提案型課題と、既存の物を評論する評論型課題の 2 種類の課題に対して、携帯電話に対応した電子掲示板と対応していない電子掲示板の使用実験を行い、それぞれに対して発話数と発話内容の種類を比較検討している<sup>(7)</sup>。この研究では、どちらの課題に対しても、携帯電話対応型掲示板を使用した方が、発話数が多くなる傾向があり、発話内容の種類に関しては、提案型課題の場合、新しい提案がたくさん為された。一方、評論型課題の場合は、じっくりと考えた意見が少なく、浅い思いつきによる投稿が多かった。このことから、携帯電話対応型電子掲示板の利用は、ひらめきに近い新しいアイデアの提案を行う場合には適しているが、内容を深く吟味し熟考して意見を述べる必要のある課題の場合には不向きであるこ

\* 山形大学学術情報基盤センター (Networking and Computing Service Center, Yamagata University)

受付日：2007 年 4 月 28 日；再受付日：2007 年 10 月 6 日；採録日：2007 年 12 月 22 日